

革新、独創、発展性に挑む 研究者を支援

第11回 (2022年度)

エヌエフ基金 研究開発奨励賞

論文
募集

募集期間：2022年7月5日～9月5日

エヌエフ基金「研究開発奨励賞」は、革新性と独創性が高く、かつ科学や技術の進歩、産業発展に貢献する研究開発活動を顕彰し、研究開発のさらなる発展を支援することを目的としています。

次世代を担う多くの研究者の応募に期待しています。

募集分野

2022年度は、「先端計測」「環境・エネルギー」「新価値創成」の3つの分野の研究開発を募集します。

先端計測

環境・エネルギー

情報科学

生命科学計測

脱炭素技術

新価値創成

新価値創成

既成概念にとらわれない、新しい発想や新しい手法を用いた挑戦や取組みによって、社会に新しい価値をもたらし、持続可能な社会の発展に貢献する研究開発を対象とします。

NF Foundation R&D Encouragement Award 2022

募集要項

(1) 募集の対象となる研究開発分野

「先端計測」「環境・エネルギー」「新価値創成」

(2) 選考基準

- ・ 研究開発の意義と概要
- ・ 革新性
- ・ 独創性
- ・ 科学や技術の進歩に役立つ発展性
- ・ 産業発展への貢献の可能性
- ・ 使命感・考え方も評価の対象
- ・ 研究開発途上であってもよい

(3) 応募資格

2022年12月末時点で満35才以下の方

(4) 応募書類

- ①当財団所定の書式
「2022年度エヌエフ基金 研究開発奨励賞応募申請書」
 - ②参考資料 (1件～3件)
 - ③身分証明写真
- ※詳細は裏面の「応募手続き」をご覧ください。

(5) 表彰内容

研究開発奨励賞

10名 ————— 表彰状・記念品・副賞 10万円

応募申請書および参考資料により、10名を書類選考し、表彰状・記念品・副賞(10万円)を授与

奨励賞受賞者は、2022年11月15日(火)開催の「研究発表会」(オンライン形式)にて、発表を行うこと

研究開発奨励賞優秀賞

3名 ————— 表彰状・記念品・副賞 50万円

上記受賞者の中から研究発表会において優秀と認められた3名に、表彰状・記念品・副賞(奨励賞の副賞込みで50万円)を授与。

(6) 日程

- 募集期間 2022年7月5日～9月5日
- 研究開発奨励賞 発表 2022年10月下旬
- 研究発表会(オンライン) 2022年11月15日(火)
- 研究開発奨励賞 表彰式 2022年11月25日(金)

※研究開発奨励賞受賞者は研究発表会・表彰式に出席していただきます。

新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては、表彰式の開催様式を変更する場合がございます。

第11回(2022年度)選考委員

(五十音順、敬称略)

| | |
|--------|--------------------------------|
| 天野 嘉春 | 早稲田大学 教授 |
| 阿山 みよし | 宇都宮大学 名誉教授 |
| 安藤 繁 | 東京大学 名誉教授 |
| 奥野 喜裕 | 東京工業大学 教授 |
| 勝本 信吾 | 東京大学 教授 |
| 古関 隆章 | 東京大学 教授 |
| 辻 毅一郎 | 大阪大学 名誉教授 |
| 豊玉 英樹 | 科学技術振興機構(JST) 開発主監 |
| 長谷川 孝明 | 埼玉大学 教授 |
| 藤田 政之 | 東京大学 教授 |
| 本多 敏 | 慶応義塾大学 名誉教授 |
| 渡辺 啓仁 | (株)エヌエフホールディングス 基礎技術研究センター長 |

応募手続き

- **応募書類** ※提出書類は返却しません。
 - ① 当財団所定の書式「2022年度エヌエフ基金 研究開発奨励賞応募申請書」(和文、ワード形式)
※エヌエフ基金ホームページよりダウンロード
 - ② 参考資料(1件~3件)
論文集等または学会等での既発表資料(和文もしくは英文)
※発表会の資料として公開することがありますので、ご了承ください。
 - ③ 身分証明写真(縦560ピクセル×横420ピクセル)
 - **応募方法**
 - ① エヌエフ基金サイト内の“応募申請フォーム”に必要事項を入力して、送信してください。(7月5日~9月5日)
 - ② 応募書類一式は、所定のサイトよりアップロードする方法にて、ご提出いただきます。(電子応募)
 - ①の申請フォーム受領後、申請者に対して電子応募要項および書類提出用URL等をお知らせします。要項に従って、応募書類一式をアップロードしてください。(7月11日~9月9日)
 - **期日**

| | |
|--------|------------|
| 応募申請 | 7月5日~9月5日 |
| 応募書類提出 | 7月11日~9月9日 |

※応募申請と応募書類提出は期日が異なります。
- ※応募分野や内容について、お問い合わせする場合がございます。

一般財団法人 エヌエフ基金について

◆ 目的

科学技術の進歩にとり有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、また、社会の将来を担うべき有為の人材を支援、育成することを通じて、科学技術の振興を図り、より健全な社会と人類のいっそうの幸福の創造に寄与することを目的として、事業を行う。

◆ 設立趣意

現代においては、環境問題、エネルギー問題等をはじめとして、人類共通の或いは地球規模の問題が数多く出現するとともに、これらの問題の解決に当たってはグローバルな取り組みが不可欠との認識が漸く広く共有されるに及んでいる。もとより、これらの問題解決には科学技術に限らず、政治的、経済的、或いは文化的な観点等からのアプローチも求められるところではあるが、その基礎をなすものとして、科学技術に求められる役割は益々重要性を高めるに至っていると考えられる。

21世紀を迎え、研究開発活動は逐次高度化を遂げているところではあるが、このような状況をも踏まえれば、研究開発活動を一段と広く、更に深く促進し、また、これら活動全般を支える知的基盤を人類共通の資産として整備していくことが喫緊の課題と考えられる。また、研究開発活動は予算面、時間面、人的能力面等の制約のもと、ともすれば短期的な成果に傾きがちなる場合も見られるが、新しい知を持続的に生み出さうような重厚な知的体系を形成していくことこそが重要であり、そのためには、基礎的、普遍的な知的探求を、長期的視点のもとで推進、支援することもまた極めて重要と考えられる。

このような研究を担うべき人材面に関しては、国内外において情熱をもって知的創造に邁進する意欲的な研究者の育成と活躍の促進が必要不可欠であり、さらに遡って高等教育の段階においても、才能に恵まれ意欲に満ち溢れた人材の発掘、育成、支援が益々その重要性を増していると考えられる。

以上の基本的な認識に基づいて、当基金は、科学技術の進歩にとって有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、併せて、社会の将来を担うべき有為の人材を育成、支援することを目指して、頭書基金を設立することとした次第である。

◆ 事業

目的を達成するため、国内外において次の事業を行う。

- ① 科学技術研究、研究交流や学会活動に対する支援、助成
- ② 科学技術に関し顕著な業績を上げた個人又は団体の顕彰
- ③ 科学技術研究に関する調査、情報の収集及び提供
- ④ 学生等への奨学金の給付
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

■ 法人概要

| | |
|-------------------|---|
| ● 名称 | 一般財団法人 エヌエフ基金 NF Foundation |
| ● 所在地 (主たる事務所) | 〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-3-20 株式会社エヌエフホールディングス内 |
| ● 設立年月日 | 2012年3月28日 |
| ● 代表理事 | 北森 俊行 |